

# The Akita University Post

Thursday, December 4, 2008 第6号



発行 AUP 秋田大学報道局  
主筆 市井了  
編集デスク 麻生有妃



魅惑のシンフォニーはこの部屋から生まれる。(=秋田大学部室にて)

## 秋大が奏でる、秋田のシンフォニー

秋田大学吹奏楽団

一九七六年に結成された吹奏楽団は、今年で三十二年目を迎える。同楽団は毎年定期演奏会が行っているが、来年度は節目となる三〇回目の定期演奏会を迎えるという。三〇年という節目の年に練習に励む吹奏楽団の様子を取材した。

皆が楽しむ演奏を目指して

普段活動が行なわれているリ

ズム室に入ると、指揮者を中心に合奏が行なわれていた。フルートやクラリネットなど小振りな楽器から、ユーフォonium・チューバといった大きな楽器まで歩く隙間もないほど所狭しと並んでいる。団員の演奏する姿

がとても楽しそうだったのが印象的で、合奏の合間には笑いが出ていた。「とにかく楽しく、それぞれが目標を持って練習に取り組んでいます」と団長の小原美穂さん(教育文化学部三年次)は語ってくれた。団員

秋田を元気にしたい!

は総勢二〇〇人で、それぞれが週三回の活動時間や授業の時間を練習時間に充てている。昨年は全日本吹奏楽コンクール東北大会で金賞、今年度は銀賞受賞といった実績がある。

吹奏楽団ではコンクール出場だけでなく、様々な場での演奏を行っている。秋田大学入学式での毎年の演奏は恒例となっており、他にも中学校との合同演奏会、施設訪問など多くの方向に向けて楽曲を届けている。その中でも毎年十一月に行なわれる定期演奏会は活動の中で大きなウエイトを占めている。今年十二月十三日に行なわれ、練習も定期演奏会に向けたものであった。今年度の定期演奏会は、本学が企画する『秋田元気プロジェクト』の支援事業に認められ、その支援を受けて行なわれる。小原さんは「秋田は吹奏楽が盛ん。だからこそもっと多くの人に吹奏楽の魅力を伝え、活力となっていきたい」と意気込みを見せた。

第二〇回定期演奏会を控えて

来年は三〇回目となる定期演奏会を控えている。節目の年を迎えるにあたり吹奏楽団のOB・OGが一同に集って演奏が予定されている他、特別企画も構想中であるという。「多くの団員に支えられ、そして一緒に高めあいながら活動をしています」と小原さんが語るように、練習を通して吹奏楽に対しての情熱が感じさせられた。一人一人の持つ想い、パワーが演奏を通して一つになった瞬間、私たち聴く者を、そして秋田を突き動かすに違いない。

(田代周祐)

### 学貴日新

▼あの夏、沢木耕太郎に憧れて旅に出た。金も時間もそれほどないので仕方なく日本をぐるりと周る事にした。米沢の駅で野宿しているところ、警察官に職務質問を受けた。終着時から始発を待つまでの二時間でその日の疲れと共にぐっすり眠っていた。が、しかしだ。寝起きで意識が朦朧としているせいか、今一つまともに答えられない。おまけに、冷えて体も動きやしない。怪しき極まりない私は、そこから一時間も拘束された▼その日、京都駅の34番ホームから山陰線に乗り、中国地方を目指した。砂丘を眺めたかったのだ。汽車は二面編成で私はボックス席の端に座った。程なく、浪速のおばちゃん達が私を窓際に詰め寄り、みかんを食べ始めた。どうやら温泉に行くらしい。その目的地の温泉は私と終着地が近く、このまま二時間も寝たふりはしんどいので起きる事にした。そしておばちゃん達の談笑に混じった▼一人のおばちゃんが唐突に聞いてきた。「あんちゃん、好きな電機メーカーはどことや?」。私は携帯電話がたまたまパナソニックだったので「松下電工」と答えた。するとおばちゃん達は金塊でも掘り当てたかの様に、「ほんまか!私ら松下にいたんや!薄いテレビ作っとんたんや」と喜んだ。そして温泉へ持つていくお菓子や果物、饅頭、弁当、殆どを私にくれた▼人の優しさとは何か。私はこの七年間で五つの夏を旅した。それは僅か一ヶ月の行程だが、毎年、夏がくる度、心がわくわくするものだった。だが、最近はずっと▼私はこの一年、様々な貴重な事を経験させて頂いた。わくわくの連続だった。それは友人や私のすること理解のある方々に支えられての事である。一人では何も出来ない私を支えてくれたあなたに心から感謝したい。今号で主筆は変わるがAUPを末永くお願い申し上げます▼私の旅はまだ続く。



# 青い光のあたたかさ 心を灯す アカデミックプロムナード



青に染まる秋大の並木道。(=秋大正門付近にて)

十一月二十八日から十二月二十六日までの約一ヶ月間、午後五時から九時までの間、秋田大学手形キャンパスの西側街路樹を、青いイルミネーションが彩る。(佐藤友理)

## 夜の彩る 光のシンフォニー

秋田大学総務部広報課が催したこの企画は「未来を照らすアカデミックプロムナード」をキャッチフレーズに、今年初めて行なわれたものである。企画の目的は、まず秋大生の生活支

援である。一日の学習を終え家路につく際、イルミネーションを見て少しでも明るい気持ちになつて欲しい、疲れを癒して欲しいという願いが込められている。それからもう一つ地域貢献の一貫という意味もある。大学の通りは秋大生以外にも多くの学生や地域住民が利用してい

る。そのような方々にも秋田大学に親しみをもってもらいたいという気持ちから、この企画は考案された。

本格的な準備は先月の十日ころから行なわれた。電源工事の際は漏電や防水などに注意を払いながら、二万個の電飾やそれをつなぐケーブル一つ一つの点検が広報課スタッフ五名でなされた。また実際の飾り付けでは「正門は特にボリュームをつけ、かつ両端までしっかりケ-

## 青い光プロムナード

企画で使われている電飾の青い光は「青色発光ダイオード」と呼ばれるもので発光しており、これは日本人の化学研究者によって初めて発明されたものである。「発光ダイオード」とは科学技術の最先端を駆使して開発された素粒子で、今後蛍光灯や電球に置き換わる光源として期待されている。これまで発光ダイオードは光の三原色に必要な赤・緑のみであったが、この青色の発明により、青はもろん従来の赤や緑と合わせて、その他全ての色が人工的に作り出せるようになったのだ。

このような日本の研究者が発明した次世代型の光を、広く人びとに知ってもらいたいという思いから、企画では青一色のイルミネーションにしたぞうだ。

## 企画の効果と今後の予定

企画の反響としては、地域住民からは「この季節は夜暗くなるのが早いので、道が明るくなつてよかった」、秋大生からは「イルミネーションが見たいので、少々遠回りになるが正門から出て帰るようになった」などというような、賞賛の声が多く寄せられている。また事故防止、防犯としても役立つというようである。

広報課の井山さんは、「好評な企画なので、来年も是非やりたい」と思っている。またこの発光ダイオードは画期的なものである。企画終了後は大学の教材サンプルとして講義に貸し出す事も考えている」と意気込みを語った。また、学生や地域住民の方々に対しては「是非イルミネーションを見て明るい気持ちになつて欲しい。工学資源学部附属鉱業博物館前の桜並木においてもイルミネーション点灯を行なつたので、ご覧下さい」と話す。

## OGRES

### 4年目で掴んだ一部リーグ昇格へ

今年で創設四年目を迎えるアメリカンフットボール部。昨年度までは秋田大学OGRES(オーガーズ)として、県内の三大学混成チームとして活動していた。しかしOGRESは今年度から秋大生のみで構成されるチームとなり、一層力を込めた練習をこなしていた。その結果、今秋の大会で見事一部リーグ昇格を決めた。その足跡を辿っていく。

#### 環境に負けず 積み上げる努力

アメリカンフットボールの試合は通常十一人で行われるのだが、攻守交替が行われるためその都度十一人がそのまま入れ変わるの一般的なである。そのため二十二人以上でチームが編成されるのが一般的だ。

#### 多くの仲間とアメフトを

勝で一位を決め、日本大学工学部とのリーグ昇格を賭けた入れ替え戦でも勝利を収めた。それは来年度からの一部リーグ昇格を決めた瞬間であったのだ。

しかし秋田大学OGRESはプレイヤー十九人、マネージャー五人で活動しており、人数の関係上攻守を兼任しているプレイヤーが存在することがわかる。「一つの練習に特化することができない。人数がもう少し居ればと思つこともある」と、キャプテンの増田健太郎さん(工学資源学部三年)は語る。また、練習相手が県内の大学には存在しない。そのため、普段は実践練習が行えないというのが現状だ。

決して恵まれているとは言えない環境の中であるが、様々な工夫も行われている。日曜日には社会人チームである「秋田ラムズ」の方に来ていただき、練習を行っているようだ。四月には新入生をはじめ多くの方にアメフトに触れてもらいたいという思いから、ラムズとの試合が行われた。「なまはげボウル」と銘打たれたこの試合を通じて、OGRESに入学した新入生も多かったという。また、合格発表時のOGRESによる



OGRESの面々。(=秋大アメリカンフットボール部)

昨年度までは東北アメリカンフットボール連盟に準加盟という形で秋田県立大学・ノースアジア大学と混成チームを作り、東北学生アメリカンフットボールリーグに出場していた。だが今年度からは同連盟に正式加盟となり、秋田大学生のみで構成されるチームへと生まれ変わった。新生OGRESとして出場した一部リーグにおいて四戦全

勝で一位を決め、日本大学工学部とのリーグ昇格を賭けた入れ替え戦でも勝利を収めた。それは来年度からの一部リーグ昇格を決めた瞬間であったのだ。

アメフト部に所属する多くの部員が、大学に来てからアメフトを始めるという。「未経験者の方でも、募集しています。私たちが一緒に盛り上げましょう!」と話すキャプテン。

今後の活躍が期待される。(田代周佑)



# Akita University

## 2009

大切な時間を秋田と  
共に集い、語り、学ぶ

### 教育文化学部

学校教育課程 国際言語文化課程  
地域科学課程 人間環境課程

### 医学部

医学科  
保健学科

### 工学資源学部

地球資源学科 生命化学科 情報工学科 電気電子工学科  
環境応用化学科 材料工学科 機械工学科 土木環境工学科

DESIGNED BY SATORU ICHII

平成21年度 秋田大学入学試験日程 教：教育文化学部 医医：医学部医学科 医保：医学部保健学科 工：工学資源学部

#### 前期日程

- 出願期間 / 平成21年1月26日(月) ~ 平成21年2月4日(水)
- 試験日 / 平成21年2月25日(水)【教・医医・医保・工】  
2月26日(木)【教(※)・医医】
- ※は、教育文化学部学校教育課程教科教育実践選修志願者で、実技検査を選択する者です。
- 合格発表 / 平成21年3月6日(金)【2段階選抜に係る第一段階の選抜結果発表(前期・後期)】  
2月10日(火)【医医】

#### 後期日程

- 出願期間 / 平成21年1月26日(月) ~ 平成21年2月4日(水)
- 試験日 / 平成21年3月12日(木)
- 合格発表 / 平成21年3月22日(日)

#### 推薦II

- 出願期間 / 平成20年12月25日(木) ~ 平成21年1月7日(水)
- 試験日 / 平成21年1月22日(木) 面接・1月23日(金) 小論文 医医  
【(秋田県地域枠・全国地域枠)】  
1月23日(金)【教・医医(一般枠)・医保・工】
- 合格発表 / 平成21年2月9日(月)

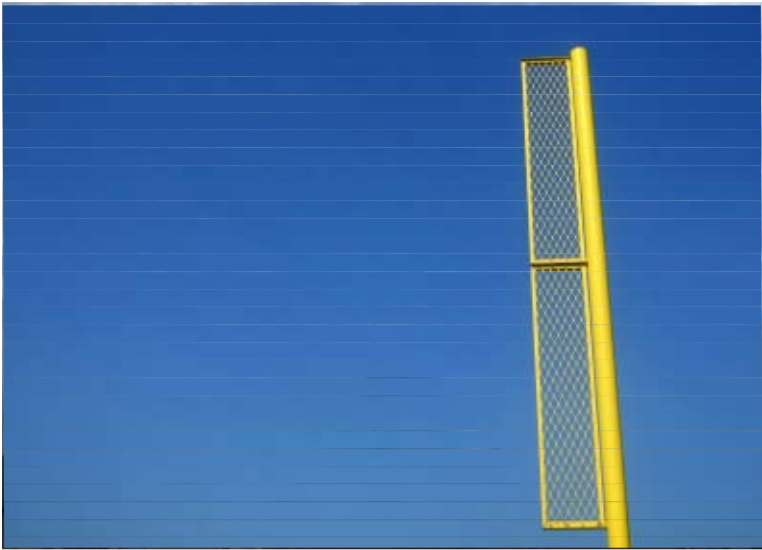


〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号  
【TEL】018-889-2207(代表)【FAX】018-889-2219【URL】http://www.akita-u.ac.jp  
※入学試験に関する詳細は、入試課(TEL)018-889-2256へお問い合わせください。





AUP Photo Library.



— 駆け登る春 — グラウンド (報道班 小林 潤)

# 秋田で磨く、ダイヤの原石

吉岡副学長が寄せるメッセージ

学長の交代により、新体制となった秋田大学。変化の元年となったこの年の終わりに、吉岡副学長(教育担当)から本学で学ぶ意義、加えて有意義な学生生活のために大学はどんなサポートをしていくのかについてお話をうかがった。

秋田大学では多くの学生が学んでいます。県内はもちろんのこと日本各地からそれぞれの夢を抱いてきています。

秋田大学のモットーは学習者中心の教育です。要するに、大学の主人公は入学してくる皆さんであり、現在学んでいる学生であることを常に意識してキャンパスの学習環境整備と支援充実にかけています。教育文化学部、医学部、工学資源学部の三学部が有機的に協力して、それぞれの学部所属する教員が工夫を凝らした授業を行っています。世界のトップレベルの研究を行っている教員、地域の課題解決に真面目に取り組んでいる教員、芸術文化で高い評価を受けている教員、一流の教育手法を有する教員等が皆さんと直接対面して授業を行います。その結果、皆さんは卒業後、社会に役立つ有能な人材となります。

## AUP INFORMATION

・クリスマスコンサート  
フォルクローレサークル  
ラミア la☆mia

日時 12月21日(日)  
開場: 17:00  
開演: 17:50

場所: 秋田大学教育文化学部3号館255教室  
入場無料  
連絡先: 080-1810-5851 (千葉)

・創作物合同展示会を開催

秋田大学非公認サークル「創作工房」が秋田県内の大学や市内にある高校のイラスト・漫画・小説などの創作を中心としたサークルや部活動・同好会と合同展示会を行ないます。是非ご来場ください。

主催: 秋田大学非公認サークル「創作工房」  
日時: 2009年1月25日(予定)  
場所: 秋田拠点センターAL☆VE (アルヴェ) 1階きらめき広場(予定)  
作品の展示、部誌やグッズなどの販売。

※お問い合わせは  
angelic.capriccio@ezweb.ne.jp (宮田) まで

最初の一年・二年は全学生が手形キャンパスで、主として教養基礎教育を学びます。この時期に専門教育を学ぶための基礎体力をつけます。それが終わると医学部の学生は本道キャンパスで、教育文化学部と工学資源学部の学生は引き続き手形キャンパスで専門教育を学びます。将来、学校の先生になりたい人、企業で活躍したい人、医療系分野で貢献したい人、研究者になりたい人など、自分にあつた領域を選んで是非秋田大学にチャレンジしてみてください。

海外からも多くの留学生が秋田大学で学んでおり、卒業修了後は母国や日本国内で活躍し、その能力は高い評価を得ています。また、皆さんも海外へ留学ができるようにオーストラリア、アメリカ、ペルー、アジア諸国、中国、台湾、韓国、ベトナムの大学と協定を締結しており、且つ、大学として留学のための経済的支援を行う制度もあります。更に、単位互換制度といって、秋田大学以外の大学の授業を受講し単位を認定する制度もあります。教養教育のみですが、県内の大学以外に岩手大学、弘前大学とも科目の単位を互換しています。

計が苦しくても入学を躊躇することはないということです。授業料免除を含めた経済的支援も整え、寮の整備も進行中で、皆さんが安心して学習できるように配慮しています。必要な場合には奨学金制度も活用できます。もちろん大学生活ではサークルで活動することも重要です。体育系団体と文化系団体がそれぞれ多数あります。入学してすぐ皆さんが積極的にサークルへ参加してくれることも期待しています。このように教育も研究も優れ、キャンパスライフの支援が充実し、地域との密接な連携を視野に入れている秋田大学でこそ皆さんの希望あるいは夢を実現できます。

このAUPの新聞の中に、いつ頃からか「KULO」という謎の白黒文字が隠れていたことを、あなたはご存知だろうか？ 単なるデザインでもなければ、どこかのお店の広告でもない。実はこれ、AUPの別冊版雑誌のタイトルなのである。

# kulo

この「秋田遺産」の取材の中で、我々は様々な町、自然、技そして人々の多くのドラマを目の当たりにしてきた。決して楽に出来上がったものではない、その美しい伝統というドラマの全てに、ただただ感嘆するばかりである。早朝から夜遅くまでのロケ、あいにくの悪天候など、いまいちは恵まれない出だしをきつたものの、その道中に時折のぞく晴れ間が、私たちの足を止めるに十分だったことは言うまでもない。

秋大生の、秋大生による、秋大生のための雑誌。ひいては、ぜひ地域の方々にも読んでいただきたい。「今の学生はこんなことに興味をもっているのね」そんな程度の感想でかまわない。どんなに素晴らしい写真と文章の並ぶ雑誌でも、読んでくださった方がいなければ、その文章はその辺の石ころと同じであるのだから。

街を歩くクリスマスイルミネーションが真っ盛りです。桜や紅葉にそれがあふれるようにイルミネーションも今が見頃なのかもしれません。電飾できらめく街もいけれど、私は秋田の冬は雪で飾ってほしいと思います。深緑色の杉の木がうつすらと雪化粧された山々は、静かな光を放っているようだから。そんなことを考えながら、きれいに泡立ったミルクのカプチーノを飲んでいきます。2009年もそこまで来ましたが、皆さんよいお年を。(麻生有妃)

編集後記

“林檎”(C)AULSF 2007

AULSF  
aulsf@hotmail.co.jp

LIGHTHOUSE

秋田花まるっ  
グリーン・ツーリズム推進協議会

学生さんの農家民宿&レストラン  
農業体験の対価はここにしますよ。

おかえり  
なさい

〒010-403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎ブースNo.4  
TEL: 018-629-5895 E-MAIL: info@akita-gt.org  
WEB: http://www.akita-gt.org

定性的な物質、定量的な感覚  
小林潤 / 市井了展

2008年12月23日(火) - 2008年12月26日(金)  
11:00 - 19:00(最終日は16:00まで)  
ココラボラトリー / cocolaboratory  
〒010-0921 秋田市大町5丁目1-12 川反中央ビル1F  
Tel and Fax 018-866-1559  
web site http://cocolab.net/